



社会にインパクトを  
与える可能性を秘めた  
若者を発掘、表彰する  
日本青年会議所主催の

JCI JAPAN  
TOYP 202

## 田村社長 準グランプリ

0で、事故や病気で  
指や乳房などを失った  
人向けの人工ボディー「  
エピテーゼ」を手掛け  
るエピテみやび（甘  
楽町善慶寺）の田村雅  
美社長が準グランプリに  
選ばれた。

田村社長は2017年  
に同町で起業し、18  
年に東京サロンを出し  
て都内での事業展開を  
本格化。作り方を指導

表彰状を受け取る田  
村社長（中央）

する教室、自宅で体験  
できる製作キットなど  
エピテーゼの普及にも  
力を入れている。  
16日に都内で表彰式  
が開かれ、表彰状が贈  
られた。田村社長は上  
毛新聞の取材に「とても  
ありがたい。エピテ  
ーゼを多くの人に知つ  
てもらうチャンスにな  
る」と話した。

本年度のTOYPには  
は全国から205人の  
応募があった。2回の  
選考を通過した20人が  
ファイナリストとして  
5月に最終選考のプレ  
ゼンテーションを行  
い、受賞者が決まつ  
た。

グランプリには歌と  
踊りに手話を融合させ  
た2人組ユニット「H  
ANDSIGN」のT  
ATSUさん、準グラ  
ンプリは田村社長のほ  
か、ジュビロ磐田など  
で活躍し、現在はスポ  
ーツを通じた地域活性  
化に取り組む元プロサ  
ッカー選手のカレン・  
ロバートさんが選ばれ  
た。